kaiwajuku
絵話塾©

お問い合せ・申込書送付先

ギャラリーヴィー 絵話塾
神戸市中央区元町通3-2-15
セントラルビル元町5F 〒650-0022
tel.**078-332-5808**
fax.078-332-5807
kaiwajuku@galleryvie.jp

●ホームページ
http://www.galleryvie.jp

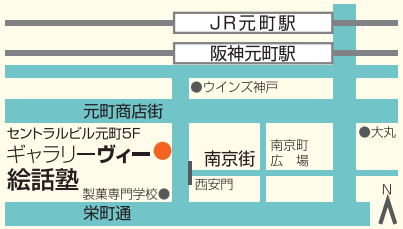
●モバイル・スマホ用
http://galleryvie.jp/m/

●絵話塾だより（ブログ）
http://blog.goo.ne.jp/kaiwajuku

●フェイスブック
facebook.com/kaiwajuku

●Twitter
twitter.com/kaiwajuku

●Instagram
kaiwajuku_insta



絵本ゆっくり塾
絵本わくわく塾
2018年度
第15期生
生徒募集中
イラストじっくり塾
イラストベーシック塾

神戸にチャンスがある
kaiwajuku
絵話塾©

絵本ゆっくり塾
絵本わくわく塾
イラストじっくり塾
イラストベーシック塾

http://www.galleryvie.jp

illustration・ida rie



絵話塾は絵本とイラストを学ぶ特別な教室です

絵話塾（かいわじゅく）は、第一線で活躍中の絵本作家やイラストレーターが講師を務める、実践的な講座です。日々の暮らしを楽しく彩りたい方からプロの絵本作家やイラストレーターを目指す方まで、幅広く対応しています。絵が好きでこれから描いていこうとする方に対して、さまざまなメディアで見かける憧れの先生から、直接アドバイスやサポートを受けながら授業を進めていきます。本やインターネットからでは絶対味わえない、情熱や空気感まで体験できる貴重な授業です。先生方は皆さんフレンドリーで親しみやすく、和気あいあいと楽しく学んで、一年後には確実に成長できているでしょう。

※開塾から15年を経て、卒業生の中にはプロで活躍中の方も沢山おられます。

特　徴

●第一線で活躍している作家が講師陣

教えるプロの先生ではなく、実際に第一線で活躍されているプロが先生。だから実践的でオモシロイ。

●他の講座もスポット受講できます

在籍中のクラス以外でも興味のある他のコースも、卒業生・在校生なら受講できます。（有料）

※絵本レベルアップコース（毎年秋から始まる上級者向けの講座）はスポット受講ができません。

●先生との距離が身近に

授業が終われば、憧れの先生と直にお話ができ、アドバイス等がもらえる場合があります。

●作品展の開催（参加費無料）※但しDM代として500円いただきます。

1年間の授業が終われば、教室の隣のギャラリーVieで卒業後に2週間、修了作品展を開催いたします。

kaiwajuku 絵話塾©



絵話塾卒業生・illustration・casacosaca



contents

2018

コース紹介 — 2
絵本ゆっくり塾 — 4
授業風景
絵本わくわく塾 — 6
授業風景
イラストじっくり塾 — 8
授業風景
イラストベーシック塾 — 10
授業風景
豆知識 — 11
絵本レベルアップ — 12
デッサン基礎クラス — 13
OneDay 絵話塾 — 14
絵話塾のある1日
講師PROFILE — 16
卒業生の活躍 — 22
Q&A — 23
入塾までの流れ — 24
申し込み用紙 — 25

絵話塾は4コースあります

絵本ゆっくり塾

特徴

「絵本ゆっくり塾」は、絵本のプロとして第一線で活躍されている講師の方々と共に、ゆっくり学んでいくコースです。
将来絵本作家になりたい方はもちろん、プロは目指さないが自分や誰かのために絵本を作ってみたいという方まで、幅広く対応しています。

授業内容

このコースでは絵・ストーリー・画面構成・ページ構成など、実際の絵本制作に則したことや、制作上の心構え、編集者からみた絵本の考え方、出版社への売り込みに関することまで、知識や技術の習得だけでなくメンタル面で絵本にとって必要なことも学んでいきます。例えばA先生は本の成り立ちからアイデア出しの方法、画材の使い方・選び方といった絵本の作り方を幅広く教えて下さったり、B先生は実験的なミニ絵本をその場で制作・講評したり、C先生はテーマを決めて様々な形態の作品を完成させるワークショップ的な内容だったり、D先生は絵本編集者の立場から絵本に関するお話と作品講評を行ったり。このようにそれぞれ個性豊かな講師のアドバイス・考え方を吸収して、絵本作りに必要な「something」を学ぶことが出来ます。

開講日
2018年6月中旬から約1年間
（夏休み・冬休みあり）

講座数
年間32課程／1課程＝2時間

日　時
Aコース／日曜日午後2:00〜4:00
Bコース／日曜日午後5:00〜7:00

定　員
A・Bとも各20名くらい

絵本わくわく塾

特徴

「絵本わくわく塾」は、週末の授業には出られない人や、絵だけではなく、文章もたっぷり学びたい方のためのコースです。
「ゆっくり塾」と同じく絵本のプロとして第一線で活躍されている講師の方々と共に、わくわくしながら楽しく絵本と取り組む講座です。将来プロを目指す人はもちろん、絵本が好きでもっと奥深く学びたい方まで、幅広く対応しています。

授業内容

このコースでは絵本作家や編集者だけでなく児童文学作家もおられるので、絵と文章をセットで学んでいきます。もちろん「ゆっくり塾」と同様、絵・ストーリー・画面構成など実際の絵本制作に則したことや、制作上の心構え、編集者から見た絵本の考え方、出版社への売り込みに関することなどの授業も行います。
例えばA先生はお薦め絵本の読み聞かせをしたり、B先生は漢字を使わないで文章を組み立てたり、C先生は絵本作りのきっかけになるアイデア出しの方法を実際に試してみたり、D先生は普段なかなかできない方法で絵を描いたりと多彩な内容です。個性的な絵本を作っておられる講師の方々があなたの絵本作りの応援をします。

開講日
2018年6月中旬から約1年間
（夏休み・冬休みあり）

講座数
年間32課程／1課程＝2時間

日　時
水曜日 午後2:00〜4:00

定　員
20名くらい

イラストじっくり塾

特徴

「イラストじっくり塾」は、絵を描くことが好きでもっとスキルアップしたい人や、暮らしの中で使える絵を描いたり、絵を仕事にしたい方にもお勧めのコースです。
プロのイラストレーターとして第一線で活躍されている講師の方々のテクニックや、経験に即した様々なお話を聞いたり、作品を講評してもらいながら、各自のレベルに合わせて自分だけのオリジナルなイラストを、じっくり作りあげていく講座です。

授業内容

このコースではイラストレーターの仕事のカテゴリーに入る様々な作品を実際に作っていきます。
ＣＤジャケット、書籍の装画、クロッキー、オリジナル雑貨、粘土で作る立体キャラクターなど。それぞれ独自の作風を持つ先生方と一緒に、色々なアプローチで自分の絵の世界を拡げていきます。使ったことがない画材や、自分では思いつかないような表現、テーマに沿った様々な作品を制作することで興味が拡がり、技術的にも精神的にも成長できます。
またプロが仕事の現場で実際に経験した生きた言葉は、これから皆さんが絵を描いていく上でのヒントになるはずです。

開講日
2018年6月中旬から約1年間
（夏休み・冬休みあり）

講座数
年間32課程／1課程＝2時間

日　時
土曜日 午後2:00〜4:00

定　員
20名くらい

イラストベーシック塾

特徴

今年で3年目の「イラストベーシックコース」は、初心者向けのコースです。
絵が好きで思い描いているイラストはあるのに、構成力・画力がない方や、日々の暮らしをイラストで楽しく彩りたい方、または将来イラストレーターになりたい方の第一歩としてもお薦めのコースです。
人物・動物・自然・建物・生活など、身の回りのモノをイラストらしく表現していけるように指導していきます。総授業時間は他のコースと同じで、月2回で1回の授業は3時間です。

授業内容

「イラストを楽しむこと」「新しいことを見つけること」を大切にしながら制作します。
いろいろな画材を使いながら、描き方のノウハウと新しい表現方法を一緒に広げていきながら、オリジナルあふれるイラストを目指します。また年に3〜4回、パネルに水張り、遠近法、色彩などの基礎知識も勉強します。

講師
弓削ナオミ

開講日
2018年6月中旬から約1年間
（夏休み・冬休みあり）

講座数
年間22課程／1課程＝3時間

日　時
水曜日 午後5:00〜8:00

定　員
15名くらい

総授業時間は他のコースと同じです。

ラフ
仕上がりをある程度想定して描く、荒いモノクロまたはカラーのスケッチ。

ダミー本
仕上がりを想定した、絵本の設計図のようなもの。色を塗っても塗らなくてもいいが、ポイントになるページには色をつける。

アクリル絵具とアクリルガッシュの特徴
アクリル絵具は透明感があり、アクリルガッシュは不透明の絵具で、乾くと下の色を覆い隠すことができ、均一なつや消しになります。どちらも耐水性で、パレットや筆は使用後すぐに洗うようにして下さい。



※各コースとも定員になり次第締切。



絵話塾卒業生・illustration・ooyamaneko



スズキコージ／3時間の授業内でテーマに沿った絵を描きます

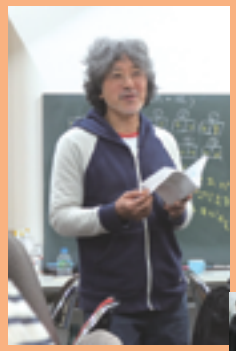


土井章史／絵本とは何か



木村真／まずは絵本の紹介

■絵本も料理を作ることと同じ。骨組みを自分で把握しておくと、後で何をトッピングしてもOK。まずは簡単なレシピを考えると、出来上がりがわかって、あまり迷わない。■絵本のラフはモノクロでも大丈夫ですが、見せたいシーンだけでもカラーにすれば見てくれる人にわかりやすい。■絵を描くには気持ちと心も大事ですが、それを伝えるためのデッサン力も必要。毎日ではなくても普段から描いていると、デッサンの力はあがる。



荒井良二／授業時間内で一冊の絵本を作ります



荒井良二／個別に作品を見てアドバイス

■何歳になっても「希望」と「好奇心」は必要。この二つは絵本にとっての栄養素。■絵本を読むと、大人も楽しくなります。絵本をたくさん読んで、その楽しい時間をなるべく長く心に留めておき、その感覚を知ってほしい。

絵に必要なことは、希望と好奇心

太田朋／版画の授業





完成した作品

■気に入った絵本は、なるべく買って読もう。そして何回、何十回声に出して読むと、新たな発見がある。■自分が読まない苦手な絵本も読んでみよう。そして何が苦手なのか考えることも大事。■絵本のアドバイスを受けるとき作家と編集者では全く違う意見もある。意見も立場によってさまざま。ただ10人の方に見てもらって半数以上同じような意見なら直したほうがいいですね。



WAKKUN
大きな紙に思い切り絵を描く





高畠那生／絵の描き方をお披露目





高畠那生／自作の絵本を紹介

新しい先生です

はやしますみ
Hayashi Masumi

京都府生まれ。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業後、グラフィックデザイナーとなる。2008年度ギャラリーVie絵話塾修了。第10回ピンポイント絵本コンペ『ねーねーのしっぽ』で優秀賞受賞。自然の匂いや温度を感じる大らかな作品や、動物たちをユーモラスに描き出した作品が人気。『とんとんとんだれですか?』、『たんぽレストラン』、『どんどろめがね』など、絵本多数。最新作は『うそうそかわうその　むかしばなし』（小学館）

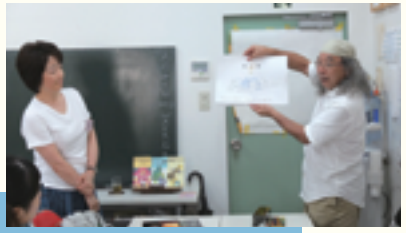


絵話塾卒業生・illustration・ikebukuro mio

色々な絵を見ることも勉強になる



太田朋／プラ版画に挑戦



WAKKUN
4人一組で起承転結の絵本を作る

■絵本のお話しが浮かばない時は。気に入った絵・写真などを見て妄想を膨らませていく。
■絵は1人では描けない。色々な人と関わってテンションを上げることも大事。
■作品を作るのは個性を出すこと。同じテーマでもみなさん、作るものはそれぞれ違う。
■ページをめくらなくても次の展開が読めるのはあまり感心しない。でも期待はうらぎらない。
■荒唐無稽なお話より、生活の中で感じたこと、思ったことが絵品作りには重要。
■チャンスは誰にも均等にあるもの。それを掴むには、日々描いていくこと。
■毎日歯を磨くように、絵を描くことも習慣づける。
■入選しなくて当たり前くらいの気持ちで、公募展（コンペ）には出してみる。通れば励みになる。

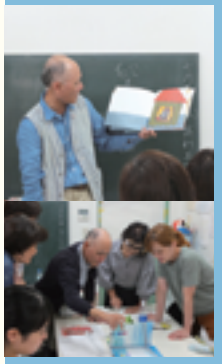
■時間があれば展覧会やギャラリーに行って絵を見る。見ることも絵を描くうえで参考になる。
■自分の気に入った作家の絵を模写する。そうすれば配色・構図、どこから塗っているのだろう？と次々に疑問が涌いてきて、すごく勉強になる。
■言いたいこと、伝えたいことがありすぎると、描き手はよくても、読み手は「この絵本」何が言いたいのだろうと思い、訳のわからない絵本になる。



松田素子／時代を超えて読み継がれてきた絵本の力は……



スズキコージ／制作中に先生のお話しで盛り上がる



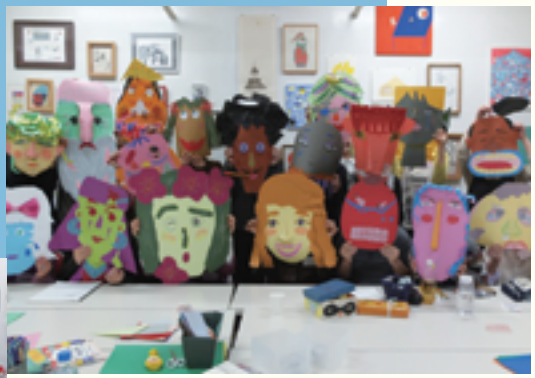
高科正信／新作絵本『はしをわたってしらないまちへ』の制作秘話



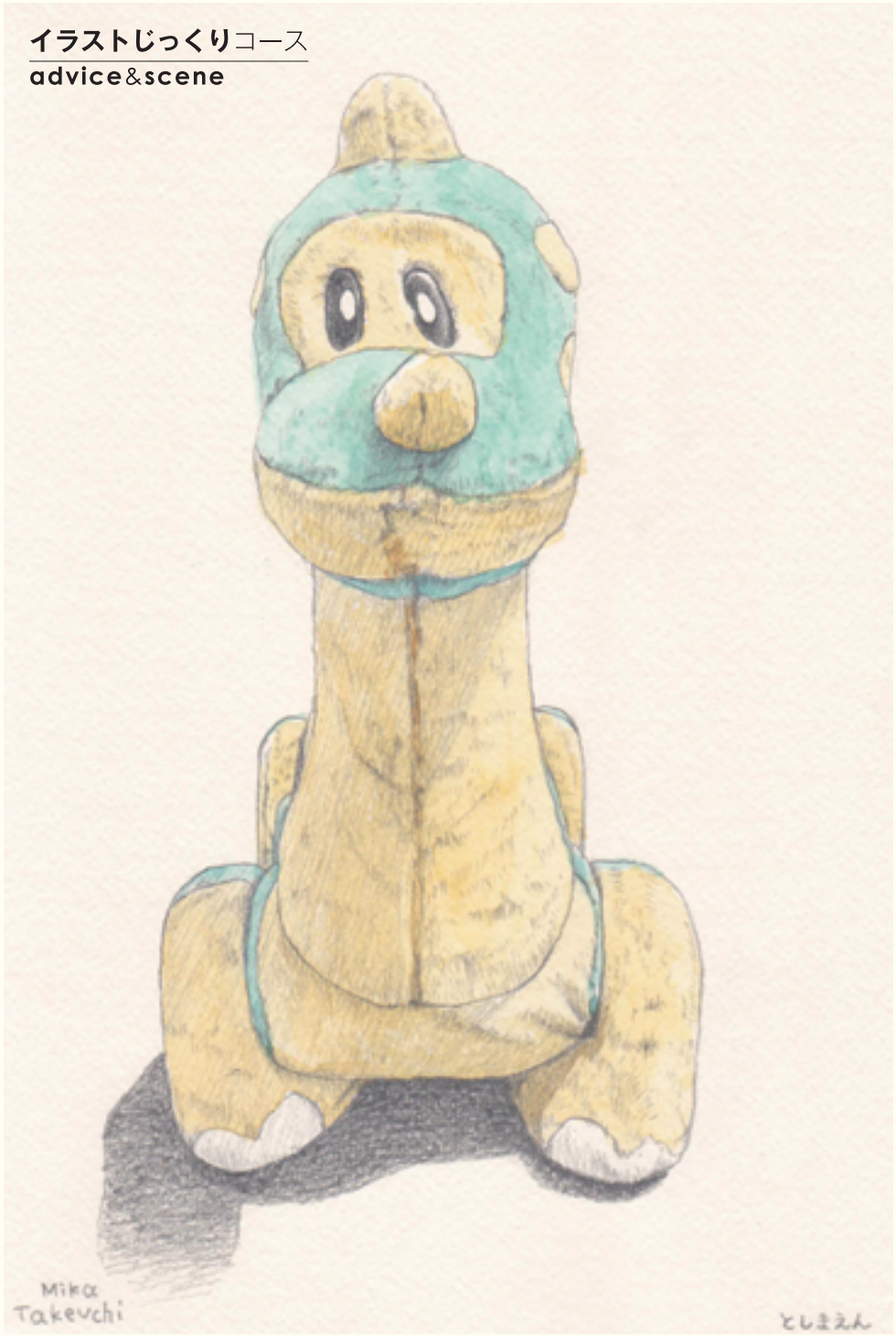
絵本に登場する絵をその場で描きます



巨大な「すごろく」を作ってみんなで遊ぶ



tupera tupera／みんなでお面を作って、記念撮影



絵話塾卒業生・illustration・takeuchi mika

この教室は失敗ができる場所



安齋肇／さあみんな、できたかな！



■苦手な人や物からも学ぶことは多い。普段あまり読まないジャンルの本も読んでみる。自分のテリトリー以外のことも知っておくと、イラストの幅が拡がる。
■平面の紙に描くだけがイラストではない。粘土で作った立体物も、雑貨もイラスト作品。
■本屋に行って表紙に使われているイラストを見ることは、文字の扱いなど良い勉強になる。
■あまり小さな紙に絵を描き続けると、大きな絵を描けなくなる。大きな紙にも描いてみよう。
■等身大で人の顔・自画像を描いてみる。
■絵を描くことは、年齢・性別などは関係がなく、仕上がった絵で勝負。
■物の形・動物などはアタマで形を憶えて、見なくても描ければベスト。



おさないまこと
テーマを決めて粘土で作品作り



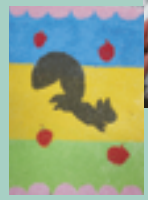
寺門孝之
課題「私と○○の間」の講評

■画面の白場も絵の大切な要素。
■絵の具をあまり混色しすぎると濁り、同じ色は出せない。
■パソコンも絵を描く道具のひとつと考える。
■才能とは続けていく力。何事も止めないことが一番。
■プロになるには絵の上手下手よりも、絵に対する意識の持ち方ひとつ。
■先生に教わるという受け身ではなく、自分の頭で考え、工夫していく。先生はあくまで助言する人。



イナキヨシコ／私の授業ではいつも雑貨を作ります





砂絵で作った作品



たかいよしかず／四コマまんがの講評



寺田順三／これはどうやって作ったの？

イラストベーシックコース



講師●弓削ナオミ

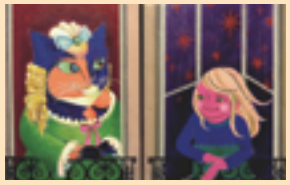




イラストレーター
大阪生まれ。京都芸術短期大学（現京都造形芸術大）ビジュアルデザインコース卒。デザイン事務所勤務後、イラストレーターとして活動。雑誌・書籍・CDジャケット・広告ポスター・化粧品パンフレットなどに作品を提供。個展やグループ展多数開催。女性や猫をモチーフにした作品が多く、どこか懐かしさを感じる世界を、墨・アクリル・デジタル彩色などで表現しています。元専門学校非常勤講師。愛猫家。



色々な画材を使い、
新しい表現法を見つける



楽しむこと。見つけること。を大切にしながら制作します。いろんな画材を使いながら、描き方のノウハウと、新しい表現方法を一緒に広げていきましょう。







昨年度の授業風景



授業風景



重ね塗りの勉強



講評風景



紙にしわを付けて描く



鉛筆を削る

Tips 豆知識

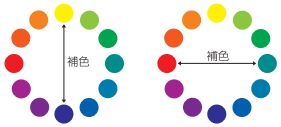
色相環とは

色相環とは、私たちがよく知っている虹色で、
赤→橙→黄→緑→青→藍→紫の七色です。この順番に赤紫を加えてリング状にしたものを「色相環」といいます。この色相環は日本色研配色体系の色相環です。本当は24色ありますが、色の勉強には12色で充分です。



補色とは

上の色相環の反対色側にある2色を補色といいます。



補色は色相差が最も大きいので、お互いの色を目立たせる効果があります。赤―緑。青―橙色など。街を歩いていても補色の組み合わせの看板などは沢山あります。例えばコンビニの看板などは補色を取り入れて目立たせています。

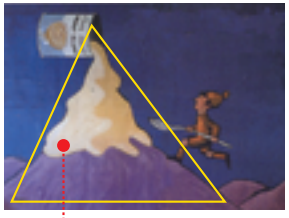
※色相＝赤や青、黄といったその色の持つ色味を色相といいます。
※シアン・マゼンタ・イエローの3色を均等に混ぜ合わせると、濁った色になります。

構図について

ここで説明する構図は基本的なもので、一枚のイラストにも様々な構図が複数存在しています。
例えば三角形の構図の中に暖色系を用いているイラスト。
リズム感あるイラストにはモチーフに大・中・小をつけているなど。展覧会・ギャラリーにはなるべく足を運び、単に絵を見るのではなく、構図とか色の配置なども頭にいれて絵を観察するのもイラスト・絵本を描くうえで良い勉強になります。
またイラストは書籍の装画・雑誌のカット・電車の中吊り広告などにも多く使われていますので、少し注意すれば普段の生活のなかでも勉強する材料が転がっています。

●三角形のバランス

メインにしたいものを三角形に配置すると安定感が生まれます。



この山の部分が三角形になっているので、画面に安定感をあたえている。

●モチーフに大・中・小をつける

一番見せたいものを大きくして、あとは画面のバランスを見ながら大きさを変えていく。

●暖色系の色をポイントに使う

モノトーンなイラストは暖色系の色を使うことにより、画面が引き締まり、その部分が目立って手前に感じる。

遠近法について

イラスト・絵本を描くうえで遠近法も重要な役割をはたします。何種類かの遠近法がありますが、ここでは「空気遠近法」と「色彩遠近法」の説明をします。

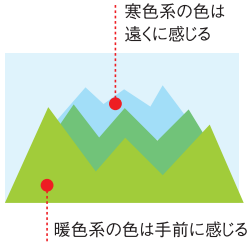
●空気遠近法

大気がもつ性質を利用した表現法です。
風景は遠くにいくほどに対象物は青味がかって見え、輪郭線も不明瞭になり霞（かす）んで見えます。このような性質を利用して、遠くにあるものほど形態をぼやかして描いたり、薄くすることにより絵に奥行きがでてきます。



●色彩遠近法

色は主に暖色と寒色に分けられます。
暖色系の赤や黄は前方に迫ってくる印象を与え、寒色系の青は後方に吸収されて行くように感じます。例えば山の絵を描くとき、手前の山は暖かみのある黄色を含んだ緑で描き、遠くの山々は寒色系の青味をおびた色で描くと山々が連なって遠くにある印象を表現できます。



2018年10月からの講座です

絵本レベルアップコース



この「絵本レベルアップコース」は、絵本をもっと深く勉強したい方、将来プロの絵本作家を目指している方等を対象にしたクラスです。
4 人の先生が交代で月 3 回程度（日曜日）、約半年間で 20 課程（1 課程＝2 時間）の授業を行います。授業内容は絵本・児童書の幅広い知識の習得、文章を書く練習・添削による指導、編集者からの実践的な話、自作の絵本づくり、ダミー作品の講評など。少人数ならではの行き届いた指導で、継続的に学ぶことでより絵本に対する取り組み方・考え方・制作スキル等のレベルアップを図っていきます。

高科正信
おすすめ絵本の
読み聞かせ





高科 正信／言葉遊びの授業



松田素子／皆さんに好きな絵本を持参して、気付いたことを発表

絵本をもっと
勉強したい方に
おすすめです。



木村 真
課題「食べ物」をテーマにした
絵本のラフの発表と講評



高畠 純／貴重な先生の
ダミー本の紹介



木村 真／絵本が書店に
並ぶまでのお話



高畠 純
先ずは頭を柔らかくする、
コトバのゲーム



松田素子／皆さんが作った絵本のダミー本を発表



- 開講日＞2018年10月頃≫2019年4月頃
- 講座数＞20課程　1課程＝2時間
- 日　時＞日曜日 午前11:00～午後1:00
- 定　員＞20名程度（定員になり次第締切）
- 場　所＞神戸市中央区元町通3-2-15
  セントラルビル元町5F
- 受講料＞167,400円（税込）
  （授業料 150,000 円＋通信費・雑費 5,000 円＋税）

講師

- 木村 真 kimura makoto
- 松田 素子 matsuda motoko
- 高科 正信 takashina masanobu
- 高畠 純 takabatake jun



2018年10月からの講座です

絵本・イラストのための

デッサン基礎クラスコース





自由に描きたいものが
描けるように

絵本・イラストのための デッサン基礎クラスとは

このクラスは「絵本・イラスト」にとって必要なデッサンを学ぶためのプロのイラストレーターによる教室です。また毎年春から一年間行われる絵話塾の本コース「絵本ゆっくり塾」「イラストじっくり塾」「絵本わくわく塾」の授業に役立つ基礎画力もつけていきます。授業内容は、「モチーフを伝わりやすいようにデフォルメする」をテーマに。人物や果物、静物など形のあるものから、火や風、感情といった形のないものまで幅広く勉強していきます。また月に1回程度外に出てスケッチ等も行っていきます。

予定授業内容

●人物クロッキー●形のデフォルメ
●外に出てスケッチ●面と線で描く●色彩の効果

※授業内容は変わる場合がございます。ご了承下さい。







須磨海浜水族園で魚をスケッチ



それぞれに合った個別の
アドバイス



神戸動物王国で植物や
動物をスケッチ



神戸ポートタワー付近で
スケッチ



講師● タケウマ

1981年大阪府生まれ。2004年京都工芸繊維大学卒業後イラストレーターとして活動開始。
アイデアを用いたコンセプトイラストを得意とするほかスケッチ作品にも定評がある。
近年はフォーチュン誌やファイナンシャルタイムズに挿絵を描くなど海外の仕事も多数手掛けている。
主な仕事に道尾秀介 著『サーモンキャッチャー』装画、赤川次郎 著『毒』装画、LUSH キャンペーンポスター、スミノフ 限定デザインボトルイラストなど。



さあ皆さんの作品を見ていきます

- 開講日＞2018年10月頃≫2019年4月頃
- 講座数＞20課程　1課程＝2時間
- 日　時＞土曜日 午前11:00～午後1:00
- 定　員＞20名程度（定員になり次第締切）
- 場　所＞神戸市中央区元町通3-2-15セントラルビル元町5F
- 受講料＞113,400円（税込）
  （授業料 100,000 円＋通信費・雑費 5,000 円＋税）

絵本ゆっくり 高畠那生 先生

1 動物・文字からそれぞれ1人1枚ずつひく。

例) にほんざる ＋ ら でおはなしをつくる。

→ にほんざるを主人公に、

⑤ 羽ではじまる文章で 5場面考える。

ら ら〜らっと スキップすると、

り りんごの木がありました。

る る〜れっとはっけん！…

2 モノ、動物、それぞれ1人1枚ずつひく。

スカート すべり台 えんぴつ セット

例) 風船 ＋ ゾウ で主人公になるようなキャラクターを考える。

考えながら、いろんなイメージをふくらます。

- どうして風船をつけることになったか。
- 普段どんな生活をしているか。
- 家族構成、好きな食べものは？

できたキャラクターで、5ページほどのおはなしをつくってみよう。

こんなふうに、1ページから順につくるだけではなく、

- 文字で条件を決めていったり、
- まずキャラクターを決めて、成立させていくことも。

絵本づくりに正解はないので、

自分が楽しく、やりやすい方法を見つけよう。

イラストじっくり おさないまこと先生

前回の授業では…

先生が仕事で"実際に"使われた立体のセットを見せてもらったあと、

石粉ねんど を使って、それぞれに好きなものをつくりました。

その後、しっかり乾燥

前回つくった立体を、完成させていきます。

はじめに描いたアイデアスケッチをみながら、完成イメージを右脳思考しながら…

磨き 形を整える

粘土は画材の一つ。いろんな表現手法があることを知ってほしい。

接着・補強

着彩

完成した立体を写真撮影して、ポストカードにする予定

完成

講師 PROFILE | 絵本コース

荒井 良二
Arai Ryoji

絵本作家
イラストレーター



山形県生まれ。『たいようオルガン』でJBBY賞を、『あさになったので まどをあけますよ』で産経児童出版文化賞・大賞を、『きょうはそらにまるいつき』で日本絵本賞大賞を受賞するほか、2005年には日本人として初めてアストリッド・リンドグレーン記念文学賞を受賞するなど国内外で高い評価を得る。「みちのおくの芸術祭山形ビエンナーレ」アーティスティック・ディレクターに2014年から就任するなど、その活動の幅を広げている。





授業の進め方

僕の授業は、いつもお話から始まります。最近起こった事、読んだ本、気になる事など……。

授業の後半では、冊子を使って1冊の絵本のようなものを作ります。まあ絵本の準備体操ですね。何も条件がないと作りにくいと思うので、こちらからテーマを決めて作ってもらいます。

例えば、全部のページに1本の同じ線を描く・行って帰って来るお話にする等。こうした決まり事や制限があると、その中で最大限出来る何かをやってやろう！ 探してやろう！として作るのではないかな。そこから創作のアイデアが生まれてくるのではないかな？と思っています。

飯野 和好
Iino Kazuyoshi

絵本作家
イラストレーター



埼玉県生まれ。長沢セツ・モードセミナーでイラストレーションを学ぶ。69年、雑誌「an an」に連載した『きむずかしやのピエロットものがたり』でデビュー。『ねぎぼうずのあさたろう その1』(福音館書店)で第49回小学館出版文化賞受賞。『小さなスズナ姫』シリーズ(偕成社)で第11回赤い鳥さし絵賞を受賞。『みずくみに』(小峰書店)で第20回日本絵本賞を受賞。絵本の制作以外に人形芝居の美術・衣装、絵本セミナーの講師など多方面で活躍中。
またブルースハープ奏者としてライブ活動も行っている。

授業の進め方

以前、絵話塾の講師をしていましたが、今年度からまた「絵本ゆっくり」コースを担当します。また皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

授業は自作の絵本をカンカラ三味線を弾きながら、読み聞かせをします。

また生徒さんが作った絵本のダミーまたは絵の講評をします。



太田 朋
Ohta Tomo

絵本作家
イラストレーター



兵庫県生まれ。1994年よりポストカードの制作を始め、その後絵本も出版。最新作に『きみがはじまる』(学研)がある。シンプルな絵と言葉による作品は、若い女性を中心に人気が高く、イラストが入った雑貨やカレンダーもたくさん作られている。また出版物の表紙や挿絵、広告、アニメーションなども手がける。関西を中心に作品展を多数開催。







授業の進め方

シンプルな絵と短い言葉で作る表現を得意としています。

授業では、8ページ絵本を作るところから始めて、最後は「自分のエピソード絵本」を作ります。

絵本という枠に収まらないで、自分の作りたい形、大きさ、長さ、手法も自由に作ってもらいます。授業中にアイデア出しをする時は、机を回り、生徒さん達の話を聞き一緒に相談に乗りながら進めていきます。

亀山 達矢
tupera tupera

絵本作家





亀山達矢と中川敦子によるユニット。2002年より活動を開始。絵本やイラストレーションをはじめ、工作・ワークショップ・舞台美術・アニメーション・雑貨など様々な分野で幅広く活動。絵本など著書多数。海外でも様々な国で翻訳出版されている。主な著書に『かおノート』『やさいさん』『パンダ銭湯』また『しろくまのパンツ』(ブロンズ新社)で日本絵本賞受賞。NHK E テレ「ノージーのひらめき工房」ではアートディレクションを担当。京都造形芸術大学 こども芸術学科 客員教授
http://www.tupera-tupera.com/

授業の進め方

ボクは絵本だけではなく、ファッション・舞台美術・ワークショップなど広い分野で活動している2人組ユニット、ツペラツペラの1人です。

初回の授業では、今まで出版した絵本がどうやって誕生したのかを、種明かししていきます。日常の中には絵本になる題材が沢山あって、それを絵本に出来るかな……と、いつも考えているのです。『やさいさん』『パンダ銭湯』『うんこしりとり』はそんな日常のアイデアから誕生しました。

みんなでワークショップをする授業もあります。NHK E テレ「ノージーのひらめき工房」でも行っている、簡単な頭の体操から、「巨大すごろく」を作るワークショップまで、毎回楽しい授業です。

木村 真
Kimura Makoto

編集者



東京都生まれ。学研教育出版 幼児・児童書出版部に所属。『Pooka』『おはなしプーカ』の編集長を務める。今までに200冊以上の絵本を企画・編集する。担当した作品に『いつでも会える』(菊田まりこ)『パパはウルトラセブン』(宮西達也)『思いつき大百科辞典』(100%ORANGE)『ぼうしとったら』(tupera tupera)などがある。また絵本コンペ審査員など絵本に関する活動も多数。





授業の進め方

本を販売する側の編集者として、客観的な目で作品を見てお話をします。

海外の絵本の見本市などにも出かけて、海外と日本を比較しての違いなども具体的にお話します。

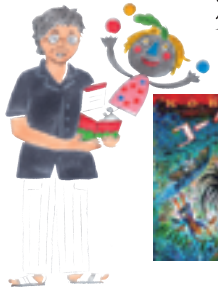
授業では主に「ダミー本」の講評を行いますが、その都度ワークショップなども行います。

例えば「食べ物」の絵本が主流になってきたと感じた時には、皆さんにもそれに関連した絵本で好きな本はないか聞いたり、また食べ物のキャラクターを考えてきてもらうこともあります。

絵本は時代背景も大きく関係しているので広い視野で作ることも大事だと思います。

スズキコージ
Suzuki Kohji

絵本作家
イラストレーター



静岡県浜松市生まれ。1968年新宿歌舞伎町の路上にて初個展、1971年個展「コージズキンの世界」開催。「イラストレーター」の名称ができた頃にデビュー。1987年『エンソくんきしゃにのる』(福音館書店)で小学館絵画賞、1988年『ガラスめだまときんのつののやぎ』(福音館書店)と1989年『やまのディスコ』(架空社)で絵本にっぽん賞、2004年『おばけドライブ』(ビリケン出版)で第35回講談社出版文化賞絵本賞。2009年『ブラッキンダー』第14回日本絵本大賞。2014年姫路市立美術館にて「スズキコージの絵本原始力展」を開催。最新刊は『コーベッコー』(BL出版)



授業の進め方

ボクの授業では、何か一つテーマを決めて毎回3時間のワークショップを行います。

今まで作ってきたものは、例えば「帽子」や「靴」。それから「自分に起こった喜怒哀楽を表現してみよう！」など。作る作品は、ダンボールで立体作品や、コラージュの手法で平面作品など何でも全て自由です。ボクは音楽も好きなので、制作中によくCDをかけます。ジブシー音楽やジャズに至るまでジャンルも様々で、ボクもみなさんと一緒に作ります。 作りながら旅の話もよくします。メキシコが好きで今まで何回も行ってその都度おかしなことに遭遇しました。作品が完成したら発表会です。

さぁ皆で楽しもうぜぃ！

講師 PROFILE | 絵本コース

高科 正信
Takashina Masanobu

児童文学作家



愛媛県生まれ。日本児童文学者協会会員。作品に『タンポポコーヒーは太陽のにおい』(理論社)、『モモコ』(文渓堂)、『ふたご前線』『ツバメ日和』『ぼくらの事情』(フレーベル館)など。本塾講師、荒井良二さんとの仕事に『おおきなおおきなさかな』『さよなら地底人』がある。また本塾一期生、小林美佐緒さんとの絵本『たまのりおたまちゃん』『がぶりがぶりのおかあさん』(いずれもフレーベル館)。『ぼっちたちの夏』(佼成出版社)。『さよなら地底人』の姉妹編『さよなら宇宙人』(フレーベル館)『たぬきがくるよ』(絵・寺門孝之　BL出版)最新刊は『はしをわたってしらないまちへ』(福音館)がある。



授業の進め方

児童文学作家で子ども向けのお話を書いています。
普段は近所の海で釣りをしたり、釣ってきた魚で料理を作ったりして過ごしています。
授業の初めには、最近読んだ本や好きな映画の話をしながら、進めていきます。毎回テーマを決めてそれに合う絵本を、ボクが読み聞かせをしながら紹介していきます。授業のテーマは「幸福のあり方」「私とは誰か」「子どもの秘密」等です。絵本の中にこんなことが隠されているのか。こう云うことを伝えたかったのか。という部分を説明します。絵本には沢山の魅力が詰まっています。
あと、文章を書く課題を出します。原稿用紙の書き方も含めて添削してお返しします。

高畠 那生
Takabatake Nao

絵本作家



岐阜県生まれ。東京造形大学美術学科絵画専攻卒業。絵本作家、イラストレーターとして活動中。第4回ピンポイント絵本コンペ入選「メガネをみてよ！」第25回講談社絵本新人賞 佳作「むかったさきは…」主な絵本作品に『ぼく・わたし』『チータ大セール』『でっこりぼっこり』『いぬのムーバウいいねいいね』『おまかせツアー』『クリスマスのきせき』『だるまだ！』『カッパのあいさつ』『あるひこねこね』『あいうえおんせん』『バナナじけん』『カエルのおでかけ』(フレーベル館)で日本絵本賞を受賞など他多数。
www.nao-takabatake.com/



授業の進め方

ボクは今までと違う視点で絵本を作ります。例えば「描きたいシーン」の絵を何枚か描いて、描いた絵から連想する「コトバ」をつなぎ合わせて絵本を作っていきます。こうすると予測できない作り方が出来ます。
また、今まで自分が作ってきた制作エピソードや、皆さんの前で絵を描いて、描く順番、筆の運び方、色の混ぜ方などを直接見てもらうこともあります。
たまに天気の良い日には外に出て、アイデアを見つけに行くワークショップを行うこともあります。

土井 章史
Doi Akifumi

編集者



広島県生まれ。1988年頃から絵本の編集にたずさわる。1993年東京吉祥寺に小さな絵本の店トムズボックスをオープン。いままで300冊以上の絵本をトムズボックスの名で企画・編集する。多くの絵本作家のデビュー作に関わる。2003年から学研の月刊絵本『おはなしプーカ』の企画・編集を担当。また絵本のワークショップ「あとさき塾」を運営し多くの絵本作家を輩出している。最新刊は『絵本をつくりたい人へ』(玄光社)。

授業の進め方

トムズボックスの名で今までに300冊以上の絵本を編集しています。その経験を生かした編集者ならではの視点で、授業では主に「ダミー本」の講評を行います。
また、作家さんとの制作秘話なども時々お話します。子どもを喜ばせてみせる！ そんな心意気、意気込みを感じる作品をぜひ作って下さい。楽しみに待っていますよ！





はやしますみ
Hayashi Masumi

絵本作家

今年度からの
新しい先生です



京都府生まれ。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業後、グラフィックデザイナーとなる。2008年度ギャラリーVie絵話塾修了。第10回ピンポイント絵本コンペ『ねーねーのしっぽ』で優秀賞受賞。自然の匂いや温度を感じる大らかな作品や、動物たちをユーモラスに描き出した作品が人気。『とんとんとんだれですか？』、『たんぽレストラン』、『どんどろめがね』など、絵本多数。最新刊は『うそうそかわうそ その　むかしばなし』(小学館)



授業の進め方

今年度から「絵本ゆっくり」コースを担当します。はやしますみです。私の授業はワークショップを中心にすすめていきます。例をあげますと、厚紙を動物の形にハサミなどで切り、着彩します。自分では思っていなかったデフォルメになり、味のあるイラストが完成します。
また授業内でテーマを決めて絵を描いたり、動物や植物などを描くときのデフォルメの方法などを伝えていきます。
あと絵本作家になった経緯、出版社への売り込みの方法などのお話しをする予定です。みなさん最初から絵本作家の人はいません！必ず初めがあるのです。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

松田 素子
Matsuda Motoko

編集者



山口県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。偕成社絵本編集部に所属。後に『月刊MOE』の編集長を務める。1989年に偕成社退社後フリーで絵本を中心に企画・編集・評論の分野で活躍。これまで300冊以上の本の編集に携わる。また自然やサイエンスの分野においても企画・編集および執筆者として活動している。







授業の進め方

これまで300冊以上の絵本の誕生に関わってきました。その誕生秘話と経過のダミーなどを具体的にお見せしながら、絵本が生まれてくるために最も大切な作品の根っこの作り方や育て方からお話ししようと思います。時代を超えて読み継がれてきた絵本の力をもう一度再確認する話も織り交ぜながら進めていきます。
「読む力」と「創る力」とはつながっていますから。その上で、皆さんの作ったダミーを、現実的な出版の可能性という立場から講評します。読者としてもこれまで以上に絵本を楽しめるようになって欲しいし、それが作家としての底力(根っこ)につながっていくことを願っています。

わっくん
WAKKUN

絵本作家
イラストレーター



神戸市生まれ。本名、涌嶋克己(わくしまかつみ)。1986年の初個展以来、毎年、関西を中心に展覧会を多数開催している。1990年絵本『ほっ』を出版。物語を空想しながら絵を描く少年の頃の気持ちがこもった独特の作品は、数多くのファンから「WAKKUN」の名とともに親しまれている。阪神・淡路大震災の時にWAKKUNの描くガッツ君のキャラクターに励まされた人は多い。





授業の進め方

授業は「起承転結」のお話を四人一組で作ったり、大きな和紙に墨と筆で絵や言葉を描いたりします。いっけん絵本と関係ないように思えるかもしれませんが、これも表現の大事な肝になります。後半は「じゃばら本」というものを使って一冊の作品に仕上げていきます。「上手く描こうとしない」ボクがよく生徒さん達に言っている言葉です。上手く描こうとするよりもその時に感じた温度や湿り気なども一緒に表現できたら素晴らしい。自分自身感じた心の震えまでもどんなやり方で作ると良いのか、一緒に探していきましょう。

講師 PROFILE｜イラストコース

安齋 肇
Anzai Hajime

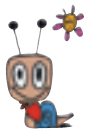
イラストレーター
アートディレクター



東京都生まれ。桑沢デザイン研究所デザイン科修了。TIS 会員。音楽に関する様々なビジュアルから、キャラクターデザイン、雑誌連載、装幀、アニメーション、ナレーション、展覧会や音楽活動など多岐に渡る。
1992 年よりテレビ朝日系「タモリ倶楽部」空耳アワー、NHK BS プレミアム「笑う洋楽展」に出演。チョコベビーズ、勝手に観光協会、LASTORDERZ、宿題工作展オバンドス、フーレンズのメンバーとしても活動中。宮藤官九郎原作の絵本『WASIMO』や作品集『work anzai』ドローイング集『drow anzai』を出版。2016 年初監督作品『変態だ』を撮る。



授業の進め方
ボクの授業では、毎回一人ずつに課題を出していきます。
皆さんは、それぞれ描きたい絵、手法、好みなどそれぞれ違いますので、各自のやりたい方法をこの一年で見つけていってほしいと思います。
「絵話塾」は実験の場でもあります。また、絵の好きな、絵を描きたい人達が集まっていますので、いろんな描き方を試して皆の反応を見ていくと良いと思います。「絵話塾」を多いに活用してじっくりと楽しんで下さい。



イナキ ヨシコ
Inaki Yoshiko

イラストレーター



京都府生まれ。（有）ゴーズデザインを経て、2000 年よりフリー。1996 年玄光社イラストレーション「ザ・チョイス年度賞」特別賞受賞。2002 年原宿・ROCKET にて初個展。
石井好子『巴里の空の下オムレツのにおいは流れる』（扶桑社）田辺聖子『残花亭日暦』（角川書店）等の書籍装画、『PARCO』やセレクトショップ『VIS』などの広告やノベルティグッズ、NHK ラジオ第 2 放送のテキスト「英語で読む村上春樹」のイラストを担当。「Polka dot」（服飾雑貨／京都）のショップカード・ロゴやテキスタイルを担当。



授業の進め方
毎回雑貨作りを行います。自分が作って楽しく、身につけて嬉しいものを作っていきます。
例えば絵を買うとなると少し勇気が要りますが、雑貨ですと気軽で手軽です。人にプレゼントするなどのコミュニケーションツールとしても使えます。
授業で作るのは、缶バッチ、砂絵、名刺作りなどです。缶バッチも一枚の絵柄の中から、切り取る場所を変えるだけで全く異なる作品に仕上がります。見え方・見せ方は無限にあります。人に喜んでもらうと自分も嬉しく、制作の励みになります。

おさない まこと
Osanai Makoto

イラストレーター



神戸市生まれ。宝塚歌劇関係の制作のアシスタント、デザイナーを経て87年よりフリーのイラストレーターとなる。
現在は東京在住。主な仕事として NHK 教育テレビ連続ドラマ「ミニモニ。でブレーメンの音楽隊」エンディングタイトル立体イラスト制作。JR 東海新幹線キャラクター。パルメザンチーズのキャラクター「パルメくん」。長野朝日放送テレビキャラクター「モーリーとりんごちゃん」。小学校の教科書『新しい算数』（東京書籍）の表紙。関西でも神戸須磨パティオのキャラクター「パティ」。毎日ランニング、ウクレレを楽しんでいます。



授業の進め方
イラストコースの中で唯一「立体」の授業を担当しています。
ボクは「立体」を作ってカメラマンと組んで撮影するスタイルをとっています。イラストといえば平面作品を思い浮かべる方が多いと思いますが、粘土も画材の一つと捉えて使えば、絵の幅と可能性も拡がります。
授業では、物語の一場面を立体で制作し、撮影してカレンダーを作ります。背景や登場人物の服など、何でも皆さんの工夫で頭をひねりながら一緒に作ります。
先生に教わるという受け身ではなく、自分達で考えて進んでいく力を身に付けていってほしいと思っています。

大阪生まれ。大阪芸術大学デザイン学科卒業。（株）京田クリエーション入社後、多くのキャラクターデザインを手がけると共にイラストレーターとしても活躍。見る人を元気づけられる作品を作ることがモットー。代表作に明治『マーブルわんちゃん』、西宮市たび博キャラクター『みやたん』、招き猫とダルマを合体させた『ネコダルマンワールド』を展開、童心社『怪談レストラン』シリーズの装丁・挿絵、くもん出版絵本『おはなし・くろくま』シリーズなど多数。2001・2003・2006・2011年イタリアボローニャ国際絵本原画展入選。



授業の進め方
キャラクターデザインを中心に授業を進めていきます。
絵の世界は上手い下手ではないんです。ボクの考えでは「やる・やらない」、「好き・嫌い」、「合う、合わない」の３つではないかと思っています。一歩踏み出せばその先必ず何かにつながるはず。でも、やめたらそこで終わりなんです。ボクが今この絵の世界にいられるのは絵を描くことをやめなかったからです。描き続けるためには何をすれば良いのか、授業でお話していきたいと思います。またおすすめの書籍や展覧会など毎回案内していきます。



たかい よしかず
Takai Yoshikazu

HAPPY CREATOR



寺門 孝之
Terakado Takayuki

画家・イラストレーター



名古屋市生まれ。大阪大学文学部美学科卒業。セツ・モードセミナー卒業。1985 年第 6 回日本グラフィック展大賞受賞。光溢れる天使や、溶けるような夢や物語の世界を描き、個展をはじめ、書籍の装画、広告、ライヴペインティングなど幅広く活動中。著書に『納豆の大ドンブリ』（岩崎書店）『てらぴか映画日誌』（風濤社）、『DREAM DREAM』（ブルース・インターアクションズ）、『天使のカレンダー』（リトルモア）絵本『ぼくらのオペラ』（イースト・プレス）など多数。2010 年公開の映画「人間失格」で主人公が描く絵を担当。現在、神戸芸術工科大学教授。



授業の進め方
主に課題を出して講評する形をとっています。これまでに出した課題の例で言いますと、「わたしのアイドル」「変身願望」「読書感想画」など。今はネットでいくらでも検索できるので、調べてもあまりわからないような、自分自身で考え、想像できる、そうせざるを得ないような課題を、と思っています。
絵を描くことは、太古から人類が今まで永く生み出してきた行いです。いまあなたが絵を描いたとすると、それは人類史上何番目かの絵になる訳です。歴史的瞬間なのです。絵を描くとは一体どういうことか。そういった大きい広い視点で見ていくことも含めて、皆さんと「絵」について深く話し合っていきたいと思っています。

大阪生まれ。東京イラストレーターズソサエティー所属。2000 年カムズグラフィック設立。以降、関東・関西で作品展多数。独特のレトロな作風で愛らしい動物たちを描いた作品は、どの世代にも人気がある。オリジナルの雑貨やぬいぐるみも多数。
絵本『タビの雑貨屋さん』（学研）『カルルとふしぎな塔』（白泉社）『ボクらはオコジョのおまわりさん』（佼成出版社）『ようこそ ぼくのおともだち』（あかね書房）等がある。アメリカのブランド「chronicle Books」で多数のグッズデザイン・イラストを担当。世界中で販売され人気を博している。現在、京都造形芸術大学講師。

授業の進め方
文字と絵の構成を考えながら、「本の装丁」「カレンダー」「パンフレット」等の課題を出し、講評します。
イラストは原画が完成というよりも、人の目に触れるのは印刷された状態のものがほとんどです。どのような状態で完成まで持っていくのか、色の濃淡や文字の配置など細部まで計算して描いていきます。
また、絵は描かないと上手くはなりません。そしてそれを人に見てもらうことが大切です。授業では他の生徒さんの作品もしっかり見てどうやって描いているのかも聞いて吸収していって下さい。



寺田 順三
Terada Junzo

イラストレーター



kaiwajuku
OB・OG
卒業生の活躍

絵話塾で学んだことを活かし、修了後も継続的に作品展を行ったり、公募展に出品したり等、活動を続けています。またプロとして活躍している方も多く、ここでは一部だけをご紹介いたします。

竹内 みか
イラストじっくりコース修了

小説現代 2018年2月号
装画イラスト 担当

イラストレーション
第205回ザ・チョイス　入選




酒巻 恵
絵本レベルアップコース修了

『くだものおばけやしき』
ひかりのくに
絵・作：酒巻恵

『ひげひげ　わたりひげ』
あかね書房
絵・作：酒巻恵

『おしりびより』
WAVE出版
絵・作：酒巻恵





はやし ますみ
絵本わくわくコース修了

『うそうそかわうそのむかしばなし』
小学館
絵・作：はやしますみ

『ウサギのおおまちがい』
和光舎
絵・作：はやしますみ




いだ りえ
絵本ゆっくりコース修了

『メイク・ア・ウィッシュ 夢の実現が人生を変えた』
KADOKAWA
装画 担当

『わたしが子どもをもたない理由(わけ)』
かんき出版
装画 担当




マメ イケダ
イラストじっくりコース修了

『まぼろしのパン屋』
徳間文庫
装画 担当

『日々ごはん』
アノニマ・スタジオ
装画 担当




駒井 和彬
イラストじっくりコース修了

『還暦シェアハウス』
中央公論新社
装画 担当

『アレグリアとは仕事はできない』
筑摩書房
装画 担当




住川 ちひろ
イラストじっくりコース修了

「イラストノート」
ノート展 キャラクター部門入選



安達 早苗
絵本わくわくコース修了

第8回下松手づくり絵本
全国コンクール
下松市長賞
『風はまえからふいてくるから』



すずめ ようこ
絵本わくわくコース修了

第9回武井武雄記念
日本童画大賞
入選
『へんなおんなのこ』

他にも活躍されている生徒さんが多数いますが、割愛させていただきました。

Q&A
絵話塾を受講する前に不安に思っている方、何か疑問のある方。参考にしてくださいね。

他のコースの授業も興味があり、受けてみたいのですが？

在校生はもちろん、何年経っても卒業生であれば、事前に予約を取っていただきましたら、他のコースの授業を受けることができます。
※スポット受講料は1授業4,500円が必要になります。10回分のチケットでしたら1回あたり4,000円です。



絵本のクラスは水曜日と日曜日があるのですが、何が違うのですか？

水曜日の「絵本わくわく」と日曜日の「絵本ゆっくり」どちらも絵本のコースですが、大きな違いは、水曜日は児童文学作家の高科正信さんが来られて、文章の勉強をします。
あとツペラ・ツペラ、松田素子さんは水曜日。荒井良二・土井章史・木村真・高畠那生さんは日曜日の担当講師です。
授業内容と経歴は16ページ～を参照して下さいね。

仕事で転勤になって授業に参加できなくなりました。どうすればいいですか？

1年の間にいろいろなことがありますね！仕事・結婚・出産など……。安心して下さい。通えなくなった場合は、残りの授業日数を来期に持ち越せますので、落ち着きましたらまた授業に参加することができます。



初心者ですが大丈夫ですか？ デッサンもあまりできないのですが？

授業は基本的にあまりデッサン力は求められません。それよりも1年間を通じていろいろな画材や技法に挑戦して、自分に合う方法を見つけるヒントにして下さい。
この教室は失敗しても許される場所です。たくさん失敗すれば、どんどん上手くなります。
また不安を感じるようでしたら、「イラストベーシックコース」(P.10) から始められたらいかがですか。

授業を欠席した場合、その日の授業内容を教えてくれるのですか？

この塾はお仕事をしながら通われている方が多くいますので、皆勤は少ないのですが、欠席しても絵話塾ブログで授業内容を公開していますので、そちらで確認していただきます。パソコン等お持ちでない方でしたら、後日スタッフが説明いたします。また課題などの連絡はメールなどでお知らせいたします。
絵話塾ブログ
blog.goo.ne.jp/kaiwajuku

案内の冊子を見て、特別コースというのがあるのですね。どんなコースですか？

この特別コースは、1年間全てのコース（絵本ゆっくり・絵本わくわく・イラストじっくり・イラストベーシック）を受講できるシステムです。いろんなことを集中的に勉強するには、受講料も含めてお得なコースです。ご検討くださいね。



この他にわからない事がありましたら、メール・電話でご遠慮なくご質問くださいね。

ギャラリーヴィー絵話塾
tel078-332-5808
e-mail kaiwajuku@galleryvie.jp

お申し込みから入塾までの流れ



1 コース選定

●絵本ゆっくり塾
●絵本わくわく塾
●イラストじっくり塾
●イラストベーシック塾
●特別会員コース
5コースがありますので、興味のある講座をお選び下さい。

2 申込方法

●郵送
●当塾での受付
Eメールでのお申し込みは受付しておりません。お急ぎの場合はFAXで仮申込ができます。（後ほど申込用紙を郵送またはご持参下さい）
fax 078-332-5807
※入塾に際し、簡単な面接を行う場合がございます。

3 郵送での受付

右頁の申込用紙に写真を貼付し、必要事項をご記入のうえ、ギャラリー Vie（ヴィー）絵話塾までお送り下さい。

送付先
〒650-0022
神戸市中央区元町通3-2-15
セントラルビル元町5F
ギャラリー Vie（ヴィー）
絵話塾まで

4 当塾での受付

右頁の申込用紙に写真を貼付し、申込書に必要事項をご記入のうえ、「ギャラリー Vie（ヴィー）絵話塾」までお持ち下さい。
※場所は下記の地図を参照

5 必要なもの

●写真（申込書貼付用）
●申込書（自筆）
写真は本人と分かるものであれば携帯で撮ったものでも構いません。

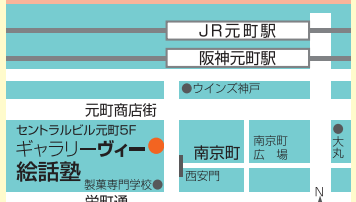
6 申込受付期限

●授業開始日の3日前
当日消印有効
但し、各コースとも定員になりしだい申込受付は終了させていただきます。

7 見学・体験受講

各講座とも見学・体験受講を随時受付しておりますので、ご希望の方は絵話塾までメールまたはお電話で、お申し込み下さい。
☎078-332-5808
kaiwajuku@galleryvie.jp
※見学は各コース1回ずつ

お問い合せ先・申込書送付先
〒650-0024
神戸市中央区元町通3-2-15
セントラルビル元町5F
ギャラリーヴィー 絵話塾
tel 078-332-5808
fax 078-332-5807
e-mail
kaiwajuku@galleryvie.jp



■絵話塾の場所
JR・阪神元町駅西口下車南へ徒歩約3分。1Fにドラッグストアがあります。ビルの左側の扉から入って奥にあるエレベーターで5Fです。

受講料
●絵本ゆっくり塾
●絵本わくわく塾
●イラストじっくり塾
●イラストベーシック塾

●各講座 年間受講料
入会金…… 30,000円
通信費等・雑費…… 5,000円
授業料…… 193,000円
計 228,000円＋18,240円（税）
合計 246,240円

特別会員コースの受講料は右記参照

8 お支払い方法

支払時期はご相談に応じます
受講料はお申込みから1ヵ月以内に下記の方法でお支払い下さい。

■ 銀行振込
三菱東京UFJ銀行
神戸中央支店 普通口座
口座番号 3892520
名義 ギャラリーVie
村上政行（ムラカミマサユキ）

■郵便振込（ゆうちょ銀行同士）
記号14320 番号48425941

■郵便振込（他行からの場合）
店名 438（ヨンサンハチ）
普通・口座番号4842594
名義 村上政行

■ 現金書留／受講料と申込書を同封のうえ、ギャラリーヴィーまでお送り下さい。後日、領収書を郵送いたします。

■ 現金／ギャラリーヴィーまで直接お持ち下さい。

■ 分割払／ご相談に応じます。

右の申込用紙を
郵送または直接ご持参下さい

右の申込用紙をコピーしていただいても結構です。

授業スタート
●絵本ゆっくり塾（日曜日）……6月中旬頃
●絵本わくわく塾（水曜日）……6月中旬頃
●イラストじっくり塾（土曜日）……6月中旬頃
●イラストベーシック塾（水曜日）……6月中旬頃

●特別会員
1年間全てのコース
（上記4コース）を受講できます。
●授業料（税込）
入会金…… 32,400円
年間の通信費等・雑費… 5,400円
授業料……400,000円
合計 437,800円

kaiwajuku@galleryvie.jp
●ホームページ
http://www.galleryvie.jp
●モバイル・スマホ用
http://galleryvie.jp/m/
●絵話塾だより（ブログ）
http://blog.goo.ne.jp/kaiwajuku
●フェイスブック
facebook.com/kaiwajuku
●Twitter
twitter.com/kaiwajuku
●Instagram
kaiwajuku_insta
絵話塾だよりは授業内容、お知らせ等の情報が載っています。

2018年度 第15期生 申込用紙

kaiwajuku 絵話塾©



ご本人確認のために必要です。顔写真を貼付して下さい。カラー、モノクロどちらでも構いません。プリンターで出力したものでもOKです。

申込日 年 月 日
ふりがな
氏 名
男・女
生年月日 ※生年月日の記入は自由です。
年 月 日

受講コース（ご希望のコースを○で囲んで下さい）
●絵本ゆっくり塾（日曜日） A 14:00~16:00 B 17:00~19:00
●絵本わくわく塾（水曜日） 14:00~16:00
●イラストじっくり塾（土曜日） 14:00~16:00
●イラストベーシック塾（水曜日） 17:00~20:00
※イラストベーシッククラスは3時間授業
●特別会員 左に内容を記しています。

住所 〒
都道府県

連絡先
TEL
携帯
FAX
E-mail パソコン
携帯
※授業の連絡に必要です。アドレスをお持ちの方は必ずご記入下さい。
勤務先（学校）
※記入は自由です。

ご注意
各講座とも先着順に受付しておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。受講料はコースの開講ができない場合にのみ、全額返金いたします。
中途退学による返金はいたしませんのでご了承下さい。